

2020年11月6日

受験生各位

昭和女子大学アドミッションセンター

## 大学院2月期入試 オンライン試験実施について

大学院2月期入試(2021年2月12～13日実施)において、福祉社会研究専攻(1年制コースのみ)、環境デザイン研究専攻、生活機構学専攻は、オンライン試験を実施します。実施方法等下記に示します。受験者は必ず確認し、必要な環境を調べてください。なお、自宅でオンライン試験を受験することが難しい場合は、大学構内の施設を利用して受験することができます(対面ではなくオンライン試験となります)。

### 記

#### 1. 機器環境

##### (1) コンピュータ (PC)

- ・インターネットに接続可能なパソコンを用意すること。ただし、Web 会議システム Zoom の推奨要件を満たす性能を有するものに限る。Zoom の推奨要件は「Zoom ヘルプセンター (<https://support.zoom.us/hc/ja>)」を参照すること。
- ・PCに事前に Zoom をインストールすること。
- ・事前に Zoom アカウントを取得し、Zoom ミーティング接続時はサインインした上で接続できるようにすること。
- ・PCでPDFファイルの閲覧が可能な状態にしておくこと。

##### (2) インターネット

- ・ブロードバンドのインターネット接続環境を用意すること。有線、無線は問わないが、オンライン試験時間中はインターネットに常時安定して接続する必要がある。

##### (3) 映像機材

- ・PCに接続されている720p以上の解像度のWebカメラを用意すること。内蔵、外付けは問わない。ただし、Webカメラに目隠しやフィルターをかけることは認めない。
- ・試験時間中の映像遮断はいかなる理由によっても認めない。映像遮断が続いた場合、不正行為と判断して試験を中止する。

##### (4) 音声機材

- ・音声の送受信ができるPCを用意すること。PC内蔵の機材でも構わないが、周囲の雑音などを軽減するため、マイク機能付イヤホンやヘッドセットの使用を推奨する。
- ・試験時間中は試験実施者側の指示によって、音声をミュートする場合がある。ただし、受験者の都合によるミュートは認めない。音声ミュートが続いた場合、不正行為と判断して試験を中止する。

##### (5) 連絡手段

- ・受験時の接続トラブル等に対応するため、緊急連絡用に通話機能のある通信機器(ス

スマートフォンなど)を用意すること。

- ・受験時の接続トラブル等に対応するため、自らのメールアドレスを所持し、メールの送受信が即時に可能であること。

## 2. 試験実施方法

### (1) Zoom ミーティングの入室

- ・受験生は指定された Zoom ミーティングに入室し、試験監督の監視のもと解答を行う。Zoom の映像と音声は常時オンとする。
- ・試験時間中の質疑応答に関しては Zoom のチャットを介して行う。ただし、出題内容に関することは応答しない。
- ・Zoom のチャットを他の受験生に送信することは禁止とする。
- ・試験監督からの全体指示に関しては、Zoom の音声機能を利用する。
- ・実施中に Zoom のトラブルがあり、受験状況が確認できない場合には、受験生に即時の再接続を求める。応じない場合は不正行為と判断して試験を中止する。

### (2) 試験問題の提示および解答

- ・試験問題は出願時に登録したメールアドレスに PDF にて送信する。
- ・解答は試験問題に記載がある URL(Google フォーム)に入力する。すべての問題に解答し終わったら送信ボタンを押し、送信する。
- ・試験時間中に誤って送信ボタンを押した場合は、時間内であれば再送信を認める。
- ・操作ミス等で解答を消去することがないように注意すること。誤操作による消去の場合、試験時間延長等の配慮はしない。

### (3) 時間割および試験時間

- ・時間割および試験時間は入試要項記載と同一とする。
- ・入試要項の着席完了時刻までに所定の Zoom ミーティングに接続を完了すること。
- ・Zoom ミーティングにはサインインした状態で接続し、名称欄には受験番号を表示させること。
- ・試験開始の指示があったら解答を始めること。
- ・試験時間終了までに解答を送信すること。試験時間中に複数回解答の送信があった場合、最も遅い時間のものを解答として取り扱う。
- ・試験時間終了後も解答を続けた場合は不正行為と判断する。
- ・試験時間終了後も試験実施側の指示があるまで、Zoom ミーティングからの退室は認めない。

### (4) 資料利用

- ・インターネット検索を含めて資料の利用を認める。ただし、他者に相談することは禁止する。
- ・外国語試験に関しては、Google 翻訳、DeepL などの機械翻訳の利用を禁止する。

## 3. 注意事項

### (1) 室内環境

- ・静粛さを保証できる部屋で、受験生本人以外は居ない状態にすること。
- ・試験時間中に他人が部屋に入ることを禁止する。また、メールや SNS などいかなる

手段においても、他人との連絡を禁止する。

- ・試験時間中は飲食を禁止する。
- ・試験時間中のバーチャル背景の使用を禁止する。
- ・試験時間中に大きな音を立てることを禁止する。また、筆記試験時間中は声を出すことを禁止する。

(2) 録音および録画

- ・試験時間中の受験者側による録音および録画は、いかなる手段においても禁止する。
- ・受験中の状況を確認するため、試験実施側は Zoom ミーティングの録音および録画を行う。ただし、録音および録画のデータは、選考が終了次第、適切に破棄する。

(3) 服装

- ・志願時に提出した顔写真データと照合を行うため、帽子などで顔が隠れない状態で受験すること。マスクなどを着用している場合は、外すように指示を出す場合がある。
- ・入学試験にふさわしい服装で受験すること。

(4) 机におけるもの

- ・PC、キーボード、マウス（無地のマウスパッドの使用可）またはトラックパッド、イヤホンまたはヘッドセット
- ・受験票
- ・筆記用具および白紙
- ・資料
- ・緊急連絡用に出願時に電話番号を届け出た通信機器（スマートフォンなど）

(5) その他

- ・機器の準備および通信費用は受験者が負担する。
- ・機器およびソフトウェアなどの利用に関するサポートは、本学は一切行わない。受験者の責任において確認すること。
- ・試験実施者側の指示に従わない場合、不正行為として受験を中止させる。
- ・SNS などに試験内容や受験の様子をアップすることを、いかなる形においても禁止する。アップが確認された場合、不正行為とみなす。
- ・不正行為と認められた場合、入学試験を無効とする（入学検定料は返還しない）。

(6) 昭和女子大学に来校しての受験を希望する場合

- ・「専攻・コース等申請書」の一番下にある「来校受験」に○を付け、出願時に提出すること。申請後の変更はできない。記載がなかった場合は、「在宅受験」とみなす。
- ・web メール（Gmail または Yahoo!メール等）のアカウントを用意し、「専攻・コース等申請書」にメールアドレスを記載すること。
- ・大学は、PC 操作の補助はしない。

以上